

# とよた市議会だより



鞍ヶ池公園キャンプフィールド(イメージ)

## 目次

■トップインフォメーション	決算審査について	2
■議案審議結果		4
■討論		5
■常任委員会	付託案件を審査	5
■一般質問	市政を問う! 25人の議員が質問	7
■トピックス		
	市議会の新型コロナウイルス感染症対策、	
	一般質問の生中継・録画放送	12

### 表紙の写真 (議案第121号・124号関連)

リニューアル予定の鞍ヶ池公園(キャンプフィールド)のイメージです。今定例会では、本市の公園では初めてとなる公募による民間活力を導入したリニューアルに関し審議しました。

## 定例会号

### 9月市議会

令和2年11月1日

# 決算審査について

## 決算とは

決算とは、1年間(4月～翌年3月)の収入と支出を整理したものです。9月定例会では、決算状況が議会へ提出され、何にお金を使うかを決めた予算に基づき、みなさまからの税金が計画的に適する目的のために使われていたかを審査します。

市の会計は一般会計と国民健康保険などの特別会計や水道・下水道事業の企業会計に分かれており、それぞれ審査します。



## 決算審査の流れ

### 本会議

提案説明

委員会付託

決算説明会

議案質疑

分科会審査案件決定

### 予算決算委員会

#### 分科会

産業建設分科会

環境福祉分科会

教育社会分科会

地域生活分科会

企画総務分科会

市側から決算案件の提出があります。

提出された決算案件について、予算決算委員会へ付託※をします。

※付託:詳しい話し合いの場へゆだねること

各部局から決算内容の説明を受けます。

次に、説明された決算内容に対し、各会派等の委員が質問をします。

その後、内容を分けて分科会でさらに詳しく審査することになります。

5つの分科会に分かれ、担当する内容について、細かく審査します。

▼予算決算委員会(分科会)の様子





# 予算決算委員会の役割

市議会では議会に提出された市の予算や決算の内容をチェックしています。

しかし、本会議での限られた時間の中で、予算や決算の内容を詳細に審査することは大変難しいことです。そこで、予算決算委員会という詳しく話し合いをする会議を作っています。さらに、予算決算委員会には、5つの分科会(企画総務分科会、地域生活分科会、教育社会分科会、環境福祉分科会、産業建設分科会)を置き、分担して細かく内容を審査しています。

予算決算委員会での話し合いの後、本会議で決算案件を承認するか否かを採決します。(9月定例会の採決結果については、4ページを参照ください。)

## 本会議

分科会長報告

意見

採決

委員会報告

討論

議決

各分科会での審査経過を分科会長が報告します。

続いて、各会派等の委員が意見を交わします。

その後、予算決算委員会としての審査案件を採決します。

予算決算委員会での審査結果を委員長が報告します。

次に各会派等の委員が賛成・反対の意見を述べ、賛同を求め討論を行います。

最後に決算案件の承認・不承認を採決します。

### 令和元年度一般会計決算を承認しました

#### 【承認第5号】一般会計決算

令和元年度歳入決算額は、2,024億2,751万円(対前年度費107億9,458万円の増)となりました。主な増加の要因は固定資産税の増などです。

歳出決算額は、1,873億2,464万円(対前年度費92億7,463万円の増)となりました。主な増加の要因は、小・中学校の空調機器整備による増などです。

財政の健全性を示す指数は、経常収支比率69.7%、自主財源比率72.8%であり、健全化判断比率の各比率は健全性の高いものとなっており、依然として健全な財政構造を保持しています。



▲予算決算委員会(議案質疑)の様子



# 議案審議結果

～とよた市議会だより～

令和2年

9月  
定例会号

## 9月市議会定例会に提出された案件

※議案名など一部省略して記載しています

採決結果	会派別賛否 <small>※自民クラブは議長を除く</small>										
	自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名				
	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対			
◆議案	第108号	交流館条例の一部改正条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0
	109	特別用途地区建築条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	110	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	111	令和2年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	112	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	113	工事請負契約の変更(地域医療センター改築工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	114	// (地域医療センター電気設備工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	115	// (地域医療センター空調設備工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	116	// (地域医療センター給排水衛生ガス設備工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	117	// (花本産業団地拡張事業造成工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	118	財産の取得(市美術館収蔵用美術品)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	119	// (地域医療センター病棟ベッド)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	120	// (基幹バス)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	121	// (鞍ヶ池緑地キャンプフィールド)	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	122	財産取得に係る変更(市役所本庁舎電話設備)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	123	損害賠償額の決定(市道の管理瑕疵による傷害事故)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	124	指定管理者の指定(鞍ヶ池緑地)	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	125	町の区域の設定及び変更(都市計画事業豊田四郷駅周辺土地区画整理事業)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	126	町の区域の変更(平戸橋土地区画整理事業)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	127	// (東営経営体育成基盤整備事業中田地区)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	128	工事請負契約の締結(地域医療センター西棟改修工事)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
◆承認	第5号	令和元年度一般会計決算	原案可決	27	0	10	0	4	0	2	1
	6	// 国民健康保険特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	7	// 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	8	// 分譲住宅建設事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	9	// 卸売市場特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	10	// 水道水源保全事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	11	// 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	12	// 介護保険事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	13	// 財産区特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	14	// 後期高齢者医療特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
	15	// 産業用地造成事業特別会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	16	// 水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	17	// 下水道事業会計決算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
◆同意	第6号	教育委員会委員の選任(再任:木本茂夫氏、天野勝美氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0
	7	公平委員会委員の選任(再任:樋口明氏)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
	8	固定資産評価審査委員会委員の選任(新任:中根金良氏)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
◆報告	第9号	経営状況の報告(開発社はじめ18法人)									
	10	専決処分の報告(和解の成立はじめ10件)									
	11	令和元年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告									
	12	専決処分の報告(訴えの提起:1件、和解の成立:1件、補正予算:1件)									
◆請願等	第1号	小学校4,5,6年の少人数学級実施を求める請願	不採択	0	27	0	10	0	4	2	1
	第1号	暗所視支援眼鏡「MW10」の日常生活用具認定に関する陳情書									
	2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書									
	3	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書									
	第3号	防災・減災及び国土強靱化対策の強化を求める意見書	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0



## 討 論

9月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。※発言順に記載

### 根本美春 諸 派

**令和元年度一般会計決算について、指摘すべき点がいくつかあることから、反対**

承認第5号：反対。法人市民税では、多国籍大企業は税法上の軽減措置を受ける。経営難に直面する小規模事業者への対策が必要。原子力発電関係の交付金は、全額返納すべき。職員の人件費は、正規雇用を増やすことが求められる。市と民間事業者の保育師との法的な雇用関係が不明なままのこども園の民間移管計画は中止すべき。中央公園費の歳出は、市の持ち出しが14億8,600万円におよび、豊田スタジアムの管理のあり方等に検討を要する。以上のことから、反対。

### 北川敏崇 自民クラブ

**令和元年度一般会計決算は総合計画の重点施策の推進を評価して、賛成**

承認第5号：賛成。第8次豊田市総合計画の3つの重点施策が着実に推進された。「超高齢社会への適応」として、福祉相談窓口における支え合いの地域づくりなどを推進。「産業の強靱化」では、花本産業団地拡張事業などを推進。「暮らしてよし、訪れてよしの魅力創出」では、区画整理事業などによる定住促進が図られた。また、ラグビーワールドカップ2019による賑わい創出や小・中学校空調整備事業完了なども高く評価。各種財政指標は健全化が維持されており、賛成。

### 中村孝浩 市民フォーラム

**先進的な在宅医療の拠点病院として確立されることを期待して、賛成**

議案第113号～116号：賛成。今回の工事請負契約の変更は、愛知県地域医療構想により在宅医療の推進が示され、将来の訪問診療需要を見据え、医師・看護師の増員に伴う地域医療センターの改築工事である。質疑において、医師54名は確保をしているものの、看護師については、今後積極的な募集を進めていくことを確認した。今後、超高齢社会の中で看護師の確保やICTを活用した先進的な在宅医療の拠点病院として、確立される事を期待して、賛成。

### 田代 研 公明党

**若園交流館は地域と学校との連携が進めやすくなることから、賛成**

議案第111号：賛成。若園交流館と若園中学校との合築に関して、中学校施設である地域学校共働本部を交流館事務室に隣接配置。生徒が地域で活躍できる機会の増加や市民の活躍機会の増加など、地域と学校、交流館の連携が進めやすくなる。また、技術科棟に配置された金工室等は他の交流館には無い施設であるため、様々な活動に対応できる。より使いやすい施設となることで利用者が増加し地域に定着することを期待し、賛成。

### 岡田耕一 諸 派

**作品取得は、豊田市美術館の価値を高められることから、賛成**

議案第118号：賛成。本作品は、作家の特徴がよく表現されており、非常に大きく迫力があること。国内の主要な美術館に、自分の作品を残したいという作家の意向と当館の希望とが一致し、直接作家から取得すること。収集委員会から「作家の代表作にふさわしい、十分なクオリティを持った作品で、価格も安く妥当である」との承認もあることから、本市財政が本当に厳しくなったときには、収蔵作品の売却も検討すべきとの意見を申し添え、賛成。

### 中島竜二 諸 派

**鞍ヶ池公園のキャンプフィールドの導入は賑わいのある公園を目指すという点で、賛成**

議案第121号：賛成。多くの市民に利用していただいている鞍ヶ池公園がキャンプフィールドを導入し、アウトドア要素を高めていくことにより、賑わいのある公園を目指すという点では評価。民間活力の導入により、市民にとってさらなる魅力のある公園ができることを期待し、賛成。

## 予算決算 委員会

【承認第5号】令和元年度一般会計決算

### 質 問

コロナ禍のため、个人防护服の調達が困難な状況にあったとのことだが、豊田市ではどのような状況であったか。

また今後どのような対策を実施していくのか。

9月10日から28日に付託された補正予算2件、各会計決算13件を審査し、すべての案件を承認及び認定しました。

### 答 弁

有事に備えて、市職員や病院関係者が用いる个人防护服等を平成25年度から計画的に備蓄している。

令和元年度も、計画に沿って、一旦は資材を購入し備蓄したが、新型コロナウイルス感染症の発生に伴

い、医療機関や消防に資材を提供した。そのため、追加で購入を試みたが、製造が追いつかない事態になり、最終的に購入することができなかった。

令和2年度は当初より調達の準備を進めており、今年度と来年度で備蓄目標を到達できる予定である。





## 常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、6委員会が常任委員会となります。

## 産業建設 委員会

9月16日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第121号】財産の取得  
(鞍ヶ池緑地キャンプフィールド)

### 質問

キャンプフィールドが新たに加わることによる鞍ヶ池公園全体の魅力はどのようか。また、キャンプフィールドをどのように生かすのか。

### 答弁

鞍ヶ池公園は、鞍ヶ池サービスエリア近くの高台からの眺望や若草山の芝生広場、夏場でも涼しい樹林地や桜の名所など、豊かな自然やロケーションが大きな魅力の一つである。

キャンプフィールドは、この魅力をそのまま生かし、ピクニックやキャンプから食事、宿泊と様々な楽しみ方ができる施設となる。

また、キャンプフィールドの来園者に、動物園やプレイハウスなどの施設を始め、トヨタ鞍ヶ池記念館や交通安全学習センターなどと連携し、一日を通して楽しんでいただけるよう、ファンやリピーターを増やす取組が必要と考えている。

## 環境福祉 委員会

9月19日および27日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第113～116号】工事請負契約の変更  
(地域医療センター改築工事)等

### 質問

地域医療センター改築工事において医局、更衣室、オンコール滞在室などは人員

体制の増加に伴い大幅に増床されているのに対し、レストランの床面積は当初のままである理由と、レストランの設計・積算が当初に組み込まれていなかった理由は何か。

### 答弁

レストランの床面積が当初のままである理由は、レストランの主な利用者が人間ドック等の健診患者であり、利用者数の大きな変化はないと想定しているためである。

レストランの設計・積算が当初に組み込まれていなかった理由は、当初、レストランの運営方法の方針が定まっておらず、設計の詳細が決められなかったことから、設計・積算を見送った。

その後、令和元年度にレストランの運営方法が概ね決まったことから、南棟改修変更にあわせて設計内容を確定し、積算を行った。



▲地域医療センター再整備完成イメージ

## 教育社会 委員会

9月18日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。また請願1件は不採択としました。

【第108号】交流館条例の一部改正条例

### 質問

若園交流館建てかえのため仮設交流館を設置するが、周辺の公共施設等との連携はどのように行うのか。

### 答弁

周辺の公共施設等との連携としては、多くの駐車場が必要となる場合は、若園運動広場の駐車場を借用することを想定している。

また、自主活動等で今までのように活動できない一般利用者については、近隣の交流館や区民会館等での活動をお願いすることとしている。

## 地域生活 委員会

地域生活委員会には今回付託された議案はありませんでした。

## 企画総務 委員会

9月24日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第125号】町の区域の設定及び変更  
(都市計画事業豊田四郷駅周辺土地区画整理事業)

### 質問

四郷駅周辺地区における、町の区域の設定及び変更の目的と効果はどのようか。

### 答弁

目的については、土地区画整理事業に伴い公共用地等が再編され、令和4年度頃に予定する換地処分により、これまで仮換地された宅地等が、法務局に登録されるため、新たな街区、区画と整合した町界、町名の設定を行うものである。

また、効果については、整備後の地形地物と町界、町名と整合した字名や地番を設定することで、地区内の住民の方にとって、わかりやすい住所、地番等が設定されるものである。



# 市政を問う!

9月7日、8日、9日に、25人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

## 木本文也

自民クラブ



- 新型コロナウイルス感染症対策
- 少子化対策の推進

### 質問 新型コロナウイルス感染症収束に向けて

今後の感染症対策の方向性と支援策の考え方について太田市長の見解を問う。

### 答弁 市長

感染症対策は、インフルエンザなど他の感染症も考慮した対策を改めて市民に周知していく。国の動向も注視し、適切な対応に努めていく。新たな支援策は、「(仮)豊田市新生児特別定額給付金」や、「(仮)豊田市臨時特別定額給付金」の支給を行う。特別定額給付金を市独自で補うものであり、スピード感を持って実施していく。引き続き、市民や事業者のご意見やこれまでの支援策の効果などを踏まえ、更なる支援の必要性を的確に判断・実行し、市民の暮らしや社会経済活動を支えていく。

## 中尾俊和

市民フォーラム



- 在宅医療・福祉連携の推進

### 質問 在宅療養を担う体制整備

人材確保で、潜在看護師復職に向けた取組も有効と考える。潜在看護師への働きかけについて、取組を問う。

### 答弁 福祉部

豊田訪問看護師育成センターが、潜在看護師を対象として復職に向けた交流会を10月に開催予定。訪問看護師の魅力や業務内容を説明するほか、実際に育児をしながら働く訪問看護師が参加者と働き方についての意見交換を行い、仕事に復帰する不安

を払拭する機会としたい。交流会の案内は、広報とよたや市ホームページへの掲載、こども園や訪問看護ステーションへのチラシ配布、看護師同士の情報提供などにより周知を行っていく。

## 鈴木章

自民クラブ



- 山村地域における観光振興のあり方とコロナ対策

### 質問 豊田市観光実践計画における山村地域の観光振興

山村地域の観光の重要性と将来の展望を、観光地・施設や各地区観光協会の在り方を踏まえ、太田市長の考えを問う。

### 答弁 市長

山村地域の観光の振興は、地域経済の活性化や地域の賑わいづくり、定住促進などまちづくりを進める上でも非常に重要。地域に愛着や誇りを持つ後継者の存在が不可欠。地域に根差した地区観光協会の役割は大きい。近場の観光地が求められる中、山村地域の重要性が高まる。新たな商品開発や担い手の高齢化、施設の老朽化などへの対応も含め、各地区観光協会やツーリズムとよた、観光事業者、地域住民と連携しながら取組を進める必要がある。

## 浅井保孝

自民クラブ



- 新型コロナウイルス感染症に対応した防災対策
- 青少年の変化に対応した青少年輔導事業

### 質問 感染症対策を踏まえた自助、共助の防災対策

市民意識調査の結果からも、高齢者の防災ラジオの利用意識は高い。今後も補助を続けるか考えを問う。

### 答弁 地域振興部

防災ラジオは、平成30年度から3

年間を補助期間とし、本年度は最終年度である。防災行政無線の難聴エリアや高齢者、避難行動要支援者への普及を目的に、15,000台を目標に掲げ、本年7月末時点での申込み状況は、約15,600台。今後の補助は、活用状況などを総合的に検証し、市民意識調査の結果等も踏まえて判断。更なる普及に向けて、河川の氾濫や土砂災害といった災害の危険性が高い地域などターゲットを絞った取組を進めていく。



防災ラジオ

## 鈴木孝英

市民フォーラム



- 新型コロナを契機とする新たな社会の構築

### 質問 新型コロナで注目されたICT技術の実装

入院や不登校の児童生徒へのオンライン授業は、行政が行うべき。オンライン授業への対応について市の考えを問う。

### 答弁 教育部

入院中や不登校の児童生徒については、Wi-Fiが使用できる環境であれば、タブレットを使ったオンラインでの学習が可能である。インターネットで配信された動画の視聴や、学校が提示した課題をデータで回答する方法がある。ライブ配信による交流型のオンライン授業も想定している。本人の希望を尊重した上で、保護者と十分な連携や共通理解を図り、児童生徒と学校との関わりを大切にして進めていきたいと考えている。



# 市政を問う!

議員氏名  
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

## 水野博史

自民クラブ



- 誰もが安心して暮らせる感染症対策
- 一級河川矢作川と共に発展する豊田市

**質問** 矢作川流域治水事業完成後の豊田市

次世代へつなぐため、更なる発展のために治水事業完成効果をふまえた豊田市の土地利用の考えを問う。

**答弁** 企画政策部

土地利用施策については、近年の気候変動の影響等による豪雨や水害の状況を見ると、流域における治水整備状況をふまえ、これまで以上に適切に計画し進める必要がある。河川等の整備により、治水安全度が向上することは、土地利用を検討・展開する上で、重要である。引き続き、第8次豊田市総合計画で掲げる土地利用構想の実現を目指し、市民の生命や財産を守ることを第一としつつ、これからの豊田市に相応しい土地利用を進めていく。

## 古木吉昭

市民フォーラム



- 次期地域経営戦略プラン策定に向けて

**質問** 次期地域経営戦略プランに向けて

次期地域経営戦略プランとして、新しい時代を生き残る持続可能な地域経営戦略プランはどうあるべきか問う。

**答弁** 市長

超高齢社会への適応、産業構造の大転換、厳しさを増す財政状況、大規模災害のリスクなどに対応していかなければならない。一方で新型コロナウイルス等の感染症への対応や、行政のデジタル化のほか気候変動などの課題を捉えた議論が必要である。これまで地域経営戦略プランを通じて、共働の推進や市役所の仕事改革などを

行ってきた。次期戦略プランは、策定を進めている第8次豊田市総合計画の後期実践計画とも連携させながら策定していく。

## 中島竜二

諸派



- 障がい者にやさしい市政をめざして

**質問** 新博物館整備段階における当事者参画

新博物館整備について、整備段階における障がいのある当事者へのヒアリングをどう反映していくかを問う。

**答弁** 生涯活躍部

各団体から、移動動線の段差の解消だけでなく、空間認識のため段差を意識的に活用することや、歩行困難者や車椅子利用者などの来館者に配慮した駐車スペースの設定、歩道の舗装仕上げなどの意見があった。また、障がいを持つ方々と共に展示会を開催するなど、開館後の博物館の運営に関するアイデアもあった。これらの意見については、実現可能性や経済性などを総合的に勘案し、現在進めている設計や今後の施設運営に反映していく。

## 山本義勝

市民フォーラム



- 環境変化に対応した学校教育
- DVから市民を守る取組

**質問** 新たな学習環境への取組

児童生徒が能動的に学ぶアクティブ・ラーニング。本市のアクティブ・ラーニングの取組について問う。

**答弁** 教育部

平成30年度の藤岡南中学校の研究発表に続き、令和元年度にも寿恵野小、花山小、益富中で継続的に研究を進め、研究内容を各校に情報提供

し、授業等で活用。グループ活動の充実や、図等を使ってわかりやすく整理できる方法を取り入れている。タブレット導入後の授業のあり方は、現在策定中の次期情報化プランで具体例を示す。個々に応じた学習や、仲間と共に考えを練り上げる学習を、タブレットを活用して実現することを考えている。

## 根本美春

諸派



- 新型コロナウイルス感染症対策の強化
- 子どもに寄り添う教育と少人数学級の拡大

**質問** 少人数学級の全学年への拡大

35人編成の小学3年生が、来年度40人編成の4年生への進級で、学級数が減る学校がある。対象となる学校数と1クラスの人数の変化を問う。

**答弁** 教育部

令和2年5月1日現在の児童数でお答えする。令和2年度、35人学級の小学3年生が、令和3年度4年生へと進級することにより、学級数が減る学校は、10校ある。その10校の小学4年生の1クラスあたりの人数は、変化の大きいクラスでは、20人から40人に、変化の小さいクラスでは、30人から37人となる。

## 深谷とおる

自民クラブ



- 先進技術を活用した消防力の強化

**質問** 消防用ドローンの利用促進

消防用ドローンの本格運用を開始しているが、導入による活用効果を問う。

**答弁** 消防本部

消防用ドローンの導入により、大規模な災害や隊員が近づくことが困難





※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム  
公明党：公明党豊田市議員団 諸派：会派所属無

# 一般質問

な災難などにおいて、被害状況や消防隊の活動状況の全体像の把握が容易になった。現場活動の方針決定を迅速にし、二次災害防止に繋がる活動になり、早く、正確に、安全な現場活動を実施できた。令和2年8月に発生した水難救助事案では、要救助者の水没位置の上空でドローンを静止させ、早期に捜索活動を開始できた。撮影した映像を、事後の検証資料として活用し、隊の資質向上に繋がっている。



消防用ドローン

## 窪谷文克

自民クラブ



●自治区が抱える諸課題

### 質問 自治区区民会館の課題

自治区区民会館など地域集会施設の補助要綱を見直すべきと思うが、本市の見解を問う。

答 弁 地域振興部

地域集会施設の整備に関する補助金については、平成26年度に地域振興部内の自治区補助金等検討会議で補助額について検討。中核市42市と比較検討した結果、県内中核市の岡崎市や豊橋市よりも本市のほうが6～8倍の補助上限額となっているなど、全ての項目で手厚い補助となっていることを踏まえ、現状維持とした。現段階で補助要綱の見直しは想定していないが、今後も時機を見て、他市の状況等などを確認しながら、要綱の見直しの必要性を判断していく。

## 岡田耕一

諸派



○新型コロナウイルス感染症に対する本市の取組  
●本市におけるスーパーシティ構想

### 質問 住民理解、住民合意

本市が考えるスーパーシティ構想において事業者提供される個人情報取り扱いと個人情報の提供を拒否できるのかを問う。

答 弁 企画政策部

スーパーシティ構想において必要となるデータ等については、具体的な事業を検討する中で整理していくことになり、現状では未定である。必ずしも個人情報を取り扱うものではないと考えており、個人情報を用いない構想になる可能性もある。国においては、全てのスーパーシティ構想関係事業者個人情報関係に関する法令の徹底順守を求めており、個人の同意なくして、情報が勝手に使われることはないことを認識している。

## 田代 研

公明党



●防災・減災の取組

### 質問 避難所運営で命を守る行動

避難所の液体ミルクの備蓄について、導入を前向きに検討していると過去に答弁があったが、導入の進捗状況を問う。

答 弁 地域振興部

液体ミルクについては、課題であった賞味期限の短さについては、いまだ改善されていない。ライフラインの停止が予想される発災直後から、調理不要で提供できる点は高い効果が期待できるため、今年度、従来の備蓄品である粉ミルクの一部を、初動期対応用として液体ミルクに変更して導入していく。

## 杉本寛文

自民クラブ



●安全・安心な学校給食のための施設更新

### 質問 老朽化した給食施設の更新

施設の更新については、現在稼働中の施設が止まる影響を踏まえ、計画的な施設更新が必要である。老朽化が進む平和給食センターと足助給食センターの更新を問う。

答 弁 教育部

給食センターは、年間を通じて安全に給食を提供することが重要である。平和給食センターと足助給食センターの2施設は、国の交付金の処分制限年数である35年を過ぎており、老朽化による課題も顕著である。この2施設については、衛生管理や労働環境、アレルギー対応など、施設更新に向けた諸条件を整理し、早急に調整を進めていく。

## 大石智里

公明党



●「ミライのフツー」の学びの実現

### 質問 子どもたちの豊かな学びのために

地域による子どものプログラミング教育への支援の取組が必要。取組に向けての考えを問う。

答 弁 地域振興部

地域住民自らが考え解決する仕組みとして、わくわく事業や地域予算提案事業等がある。朝日丘地区では平成30年度からわくわく事業で1団体が子どものプログラミング教室を実施。プログラミング技術を持つ地域の高齢者が子どもの健全育成と生きがいづくりを目的に、地域で主体的に取り組まれている。こうした事例を、市ホームページへの掲載やわくわく事業に取り組む団体への情報発信・交換を行うことなどにより支援を行っていく。



# 市政を問う!

議員氏名  
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)  
●以下の質問に関連している項目

吉野 英国

市民フォーラム



●交通事故防止に向けた取組

**質問** 高齢者の事故撲滅

高齢ドライバーの事故防止と被害軽減を目的とした、後付け安全運転支援装置設置補助制度。申請状況と期限延長の考えを問う。

**答弁** 地域振興部

令和元年12月から開始した補助金の申請状況は、令和元年度は659台分、今年度は8月末時点で537台分の補助を実施している。後付け安全運転支援装置は、運転手のペダルの踏み間違えを装置が機械的・自動的にカバーするもの。窓口では装置を設置した高齢者から意見をいただき、事故防止や安心に一定の効果があったと評価。交通事故撲滅は本市にとって重要な課題であり、補助制度の期限延長は、柔軟に判断していきたい。

榎屋 小百合

公明党



●精神障がいに対応した地域包括ケアシステム構築

**質問** 精神障がいに対応した地域包括ケアシステム構築

ライフサポートプランに基づく障がい者理解の普及啓発の具体的な事業と成果を問い、その上で「障がい者サポーター」の養成を提言。

**答弁** 保健部

主な取組として、3点挙げる。1点目は、精神保健福祉普及啓発講演会。令和元年度は191人が参加。2点目は、障がい者やその支援者の声を反映し、配慮のポイントを冊子にまとめたガイドブックを作成し啓発。3点目は、心のバリアフリー推進講座。障がい当事者が講師となり、令和元年度は10回開催し、311人が受講。受講者の多くが、

障がいへの理解が進んだと感じており、差別のない社会へと前進していると評価している。

奥村 峰生

自民クラブ



●新型コロナ禍における中小事業者等への支援  
○WE LOVE とよた応援事業の推進

**質問** 地域を支える商店街への支援

商店街事業の補助金について、非常事態における柔軟な支出や上乗せする特別枠の設定の考えを問う。

**答弁** 産業部

新型コロナウイルス感染症対策には、飛沫防止や消毒、ソーシャルディスタンスの確保などの感染拡大防止にかかる取組や、テイクアウト、プレミアム付商品券等、長期化するコロナ禍での売り上げ確保の取組などがあり、費用負担も重いと認識している。新しい生活様式に則した商業の継続や活性化に向けたアイデアを商店街など関係団体とともに考え、必要な支援策について庁内関係部署と協議していく。

倉山 和之

市民フォーラム



●豪雨被害を教訓とした水害対策

**質問** 適切な避難行動

行動のチェックリストとなるマイ・タイムラインについて、豪雨災害への対応の可能性と期待する効果的な活用について問う。

**答弁** 地域振興部

マイ・タイムラインは、台風のように数日前から被害が予想される災害や線状降水帯などによる豪雨災害に対しても有効と考える。作成にあたっては、自宅周辺の災害リスクや避難先と

避難方法、災害関連情報の名称や提供のタイミングなどを理解した上で、行動を決めていくことが重要。限られた時間内で行動を見極めるためのツールとして、時間的に余裕のない豪雨災害に対しても、適切な判断と行動に繋がるような効果を期待している。

深津 秀仁

自民クラブ



●スポーツを活かした観光戦略の推進

**質問** 自然環境を活かしたアクティビティ

アクティビティを活かした観光を進める上で、環境整備が必要。アクティビティ体験の環境整備を問う。

**答弁** 産業部

アクティビティ体験の環境整備として、ハード面を含めた魅力的な観光商品への磨き上げ、効果的なプロモーションの展開と併せ、人材の育成が必要と考えている。ソフト面として、ツーリズムとよたは、公式HP上でアクティビティ体験をプロモーション。販路拡大に向け、商品造成や個別支援を令和元年度に15事業者に行った。今後も、観光産業の振興を図るための方策の一つとして、アクティビティ体験の環境整備に取り組んでいく。

深津 眞一

自民クラブ



●福祉にかかる計画の策定状況等

**質問** (仮)コミュニケーション手段に係る条例の制定

〔(仮)コミュニケーション手段に係る条例〕の条例名と早期実現が望まれる制定に向けた今後の考えを問う。

**答弁** 福祉部

条例名については、基本的な考え方である「相互理解の促進」と「意思疎通の円滑化」を入れていきたいと考



## 一般質問

えるが、市民の意見を聞きながら決めていく。条例制定に向けた考えとしては、この条例は、全ての市民を対象とするものであり、本市が進めてきた地域共生社会の実現に向けた取組の推進に、大きく寄与するものと考えている。今後は、幅広い皆様と議論を重ね、年内にパブリックコメントを実施していく予定。来年の3月議会に上程し、4月から施行を目指したい。

**杉浦 健史**

自民クラブ



●豊かな山村地域振興を目指して

**質問** 持続的な山村地域の地域振興に向けて

山村地域において小中一貫校の導入を検討すべきと提言。子育て世代の定住と繋がる意味を含めて認識を問う。

**答弁** 教育部

小中一貫校については、義務教育9年間のカリキュラムを工夫して編成できることや、小学校期から中学校期へのスムーズな移行ができること等がメリットと報告がある。現在、小中一貫教育は想定していないが、9年間で大切にする教育は重要と考える。そのため、コミュニティ・スクール推進事業で、小中学校と地域の連携に取り組む。稲武地区では、小中連携についての研究発表を行った。現在も合同研修を行うなど、小中連携の取組を継続している。

**石川 嘉仁**

自民クラブ



●市有財産の有効活用による歳入確保に向けて

**質問** 有効活用に向けた課題克服と戦略的取組

市有財産における未利用財産の有効活用に向けた戦略的取組について問う。

**答弁** 総務部

市場で需要が見込める未利用財産について、売却等を推進。需要予測や動向を把握することは、行政では限界があるため、売却については民間事業者と連携し、民間活力の活用も検討。そのほか市ホームページや広報、不動産業者への情報提供などにより、一層の周知を図っていく。計画的な公共利用に資することも必要であることから、公共施設等総合管理計画における機能の再配置や公共施設の最適化と整合を図ることで、未利用財産の迅速かつ計画的な利活用につなげていく。

**福岡 靖純**

自民クラブ



●多核ネットワーク都市構造の確立と定住促進策

**質問** 定住促進に向けた地区計画

市街化調整区域内地区計画による宅地供給を強化するために設定した重点誘導地区において、緑の外環保全区域に該当することなどにより、開発できない案件が見受けられる。市街化調整区域内地区計画及びそれに関する活用方針について、今後の考えを問う。

**答弁** 企画政策部

市街化調整区域内地区計画制度については、まずは現在の活用方針の運用期間である令和5年度まで、引き続き宅地供給の推進策として運用していく。その後は、人口動向、社会状況の変化及び土地利用構想を始めとする今後の土地利用のあり方等を考慮した上で、当該制度の運用を判断していく。

### 意見書とは

地方公共団体の公益に関することについて、議会がその意思を意見としてまとめた文書です。議会は地方自治法に基づき、地方公共団体の公益に関する意見書を、国会や関係行政庁に提出することができます。

### 議員提出意見書

防災・減災及び国土強靱化対策の強化を求める意見書

近年、気候変動の影響の顕在化により、全国各地において水害が激甚化、頻発化しており、令和2年7月豪雨では記録的な大雨により、熊本県の球磨川や山形県の最上川、また岐阜県の飛騨川などにおいて、甚大な水害が発生した。特に球磨川では、氾濫の主な原因として、昨年の千曲川同様、ボトルネックと呼ばれる川の狭窄部地形による流下能力不足が挙げられている。本市の中心市街地を流れる矢作川においても、下流に鶴の首と呼ばれる狭窄部地形を抱え、氾濫時には甚大な被害が想定されている。このため、切迫化する大規模地震とあわせて、災害から市民の生命・財産を守ることは、喫緊の課題となっている。

加えて、新型コロナウイルス感染症拡大により、人々の健康や暮らし、経済活動など、あらゆる分野において大きな影響が出るなど、国難とも言えるべき事態に直面している。今後は、感染症の拡大防止とともに、経済活動の活性化の両立を図る、ポストコロナの「新たな日常生活」「新たな社会」を構築していくことが求められている。

このような状況下において、安全で安心な市民生活と経済活動を確保するためには、被害を最小限に留め、速やかに機能回復できる道路などの社会基盤と、新たな投資がもたらすストック効果により持続的に成長する経済基盤となる、強靱な国土構造の構築が必要である。

これらのため、本市では、「豊田市国土強靱化地域計画」を令和2年3月に策定し、強靱化対策を推進しているところであり、今後は、国と地方公共団体が団結し、総合的かつ計画的にハード・ソフト一体となった国土強靱化対策を加速化していくことが不可欠と考えている。

以上を踏まえ、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」のさらなる5か年の延長など、国土強靱化対策に必要な財源を安定的に確保するとともに、地域防災力の向上に取り組む地方財政への支援制度の拡充を図ること
- 2 災害発生時における迅速かつ円滑な復旧を支援するTEC-FORCE等の災害対応力の強化のため、国の地方支分部局、とりわけ中部地方整備局及び河川国道事務所・出張所の人員体制の充実を図ること
- 3 既存インフラの有効活用の観点から、急速に進行する社会基盤の老朽化への対策を効率的、効果的に行うための予算を確保すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和2年9月29日  
豊田市議会





## 新型コロナウイルス感染症対策

市議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、様々な取組を行っています。

### ○議場等への入室人数の見直し

一般質問について、本会議場に在席する議員を交代制で2分の1程度とし、残りの議員と答弁予定のない市側の議事説明員は、指定された別室のモニターで会議を視聴をしました。また、予算決算委員会決算説明会も同様に、委員会室に在席する議員を分科会ごとに交代制としました。



▲本会議場の様子

### ○アクリル板の設置

議長席、質問席、演壇、委員会室委員席に飛沫防止アクリル板を設置しました。

### ○検温や換気の実施

議場や委員会室に入る議員等は入室前に検温を行いました。また、本会議、常任委員会において、おおむね1時間に5分程度の休憩をとり、換気を行いました。

### ○マスクの着用、消毒液の使用

## 一般質問の生中継・録画放送

個々の議員が、市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求める一般質問の様子を、ケーブルテレビ(ひまわりネットワーク)で生中継・録画放送をしています。

今定例会からは、手話通訳者の囲み映像(ワイプ)の表示を始めました。録画放送は、豊田市議会ホームページからご覧いただくこともできます。ぜひ、ご覧ください。



▲一般質問の様子と手話通訳者の囲み映像(ワイプ)

## 市議会の予定

### 12月市議会定例会は12月4日(金)開会予定です

## ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

### 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール [gikai@city.toyota.aichi.jp](mailto:gikai@city.toyota.aichi.jp)

### ★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会  
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp>

豊田市議会 検索 「動画で見る代表・一般質問」をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや  
会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から  
閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、  
携帯端末等での視聴はWi-Fi環境を  
おすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送  
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継  
チャンネル/78.6MHz



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。